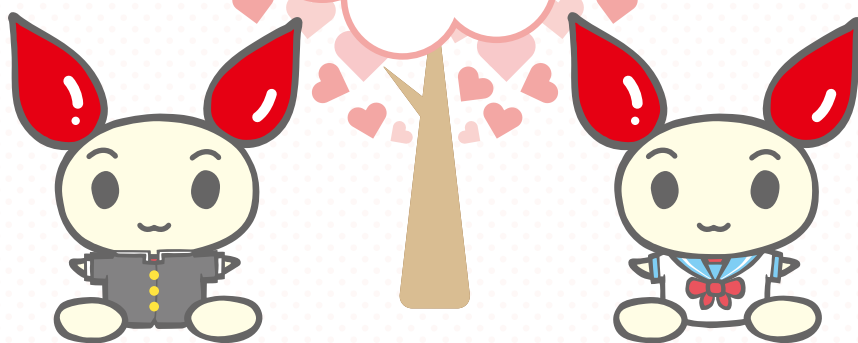


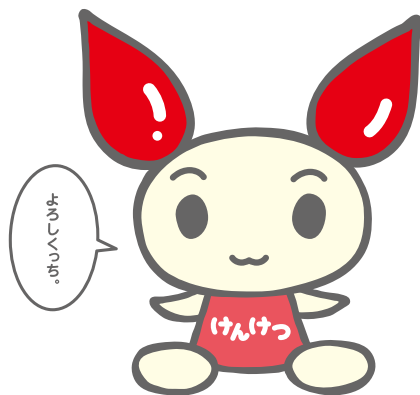
…… 教員用 ……

けんけつ  
H O P  
S T E P  
J U M P

献血は命を  
つなぐ  
ボランティア



## けんけつちゃん



チッチ

©dentsu

「たすけアイランド」で  
4人の活躍を応援している。  
愛の妖精のリーダー

けんけつちゃんは

「献血」をより多くの人に知ってもらい、

参加してもらうために登場した、愛の妖精です。



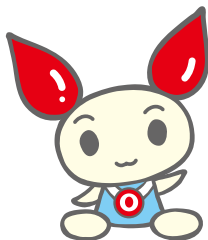
### Profile

なまえ	チッチ
しゅるい	愛の妖精「けんけつちゃん」
出身地	たすけアイランド
たん生日	10月22日
性格	いつもみんなのことを第一に考えるがんばり屋さん。
しゅみ	たすけアイランドにある「ハートの泉」をのぞくこと。
夢	日本中の人と友達になること。
特技	大きな耳のおかげでとっても聞き上手。
好きな言葉	「ちょっとチクッとしますよ。」
好きな食べ物	ソフトクリーム



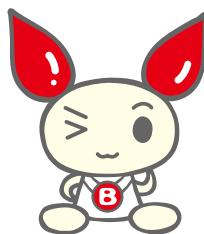
エイッチ

献血の宣伝係  
みんなをまとめる、しっかりもの。  
A型の妖精



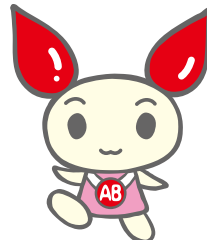
オータン

献血の呼びかけ係  
いつでも元気なムードメーカー。  
O型の妖精



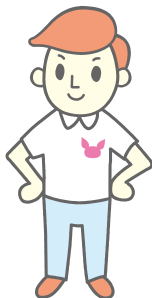
ビービー

献血の案内係  
いつも素直ながんばり屋さん。  
B型の妖精



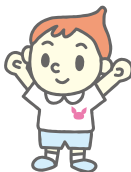
エビリン

献血のアフターケア係  
みんなに優しいおっとりタイプ。  
AB型の妖精



健助さん

人助けが生きがいのベテランボランティア。  
「けんけつちゃん」たちの  
お兄さんの存在。



つよし君

「けんけつちゃん」の  
お手伝いをする  
頼もしい子どもボランティア。



あいちゃん

元気で明るい女子大生ボランティア。  
同世代の仲間  
献血の大切さを呼びかけている。



美和さん

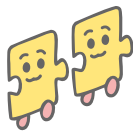


O:ぼろや

赤血球のせつちゃん



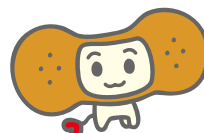
白血球のはつちゃん



血小板のぼんちゃん



わたちゃん  
脱脂綿の妖精



ばんでこちゃん  
ばんそうこうの妖精



## 高校生のみなさん！献血にご協力を！



献血は、病気の治療や手術などで血液を必要としている人のために、自ら進んで血液を提供する“身近なボランティア”です。

200mL献血は男女ともに**16歳**からできます。

詳しくは4ページへ！▶

### 献血ってどうして必要なの？

#### ○血液を必要としている患者さんが大勢いる

例えばこんなときに…

・がん ・白血病 ・感染症 ・血友病 ・手術 ・出産

#### ○血液は…

・人工的に造れない ・長期保存ができない

#### ○一人あたりの献血の回数・量には制限がある



多くの方のご協力が必要！



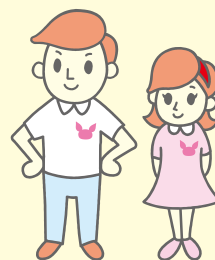
#### 少子化の影響は献血にも…

この20年間で10代から20代の献血者数は約132万人(約59%)※も減少しています。

これからも血液を確保し、患者さんの命を助けるためには、

**若い世代のみなさんの協力が必要です。**

※224.1万人(平成13年度)から92万人(令和3年度)に減少





## ■ 献血はどこでできるの？

日本赤十字社の献血ルームや献血バスで献血できます。  
詳しくは、日本赤十字社のホームページをご覧ください。

日本赤十字社 献血

検索

全国の献血バス・  
献血ルーム一覧はこちら

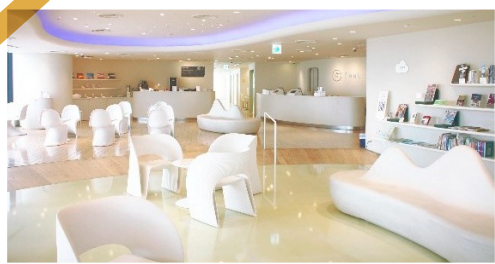
献血バス



献血ルーム



## ■ 献血ルームってどんなところ？



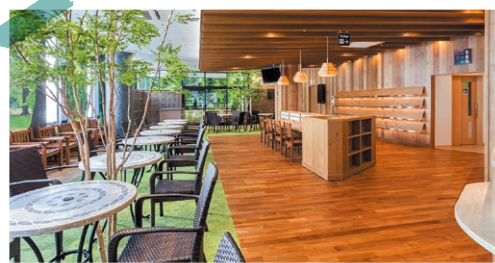
空に浮かぶ世界をイメージした幻想的な空間  
「献血ルームfeel」(東京)



ブックカフェをイメージした  
「横浜Leaf 献血ルーム」(神奈川)



愛知県内初！成分献血を中心とした予約専用ルーム  
「献血ルームフォレスト」(愛知)



水辺の公園にいるような空間  
「献血ルームピース」(広島)

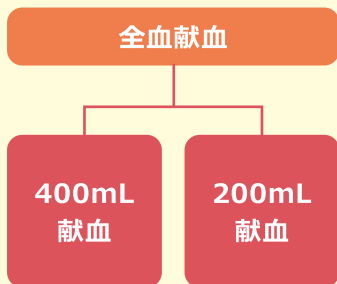


献血後に水分や栄養を補給するため、  
ジュースやお菓子を提供しています。  
漫画や雑誌等を置いているルームもあります。

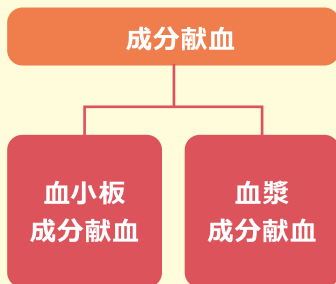
※徹底した感染症対策を行い、安心できる献血会場の運営に  
取り組んでいます。

## 献血の種類

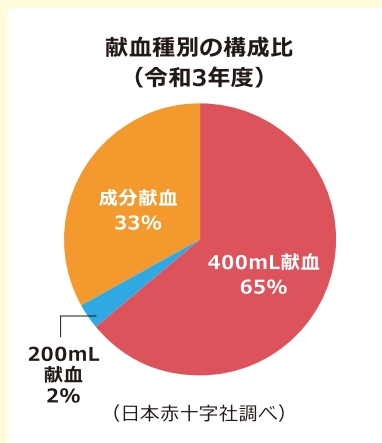
献血には4つの種類があります。



血液中全ての成分を採血する方法です。



血小板や血漿だけを採血する方法です。体内で回復するのに時間のかかる赤血球は再び体内に戻します。



## 献血基準

献血基準に当てはまる場合に献血ができます。(問診などの結果では献血できないこともあります。)

これは、献血者の健康を保護するために設定されています。

献血基準の主なもの

		200mL献血	400mL献血	成分献血
年齢	男	16歳から	17歳から	18歳から
	女		18歳から	
体重	男	45kg以上	50kg以上	45kg以上
	女	40kg以上		40kg以上



【教員の皆様へ】  
17ページをご参照ください

## 01 | 受付



受付をします。  
本人確認のため、ご自身を証明できるものを提示します。

### 学生証も有効なの？

「氏名」「生年月日」「顔写真」が揃っていれば有効です。  
3つ揃わない場合は他の証明書も必要です。



## 02 | 健康診断



質問に正確に回答します。



回答に基づき、問診と血圧・体温測定などを行います。

ご飯は食べたかな？  
昨日はちゃんと寝れたかな？  
熱はないかな？



少量の採血を行い、血液の濃さなど、献血ができるかどうかを事前に調べます。

血液型の判定もするよ



【教員の皆様へ】  
17～19ページをご参照ください

## 03 | 採血



診断結果に問題が無ければ、採血します。

献血後の体調不良の予防のために、水分を補給しましょう。



## 04 | 休憩



十分に水分を取り、**少なくとも10分以上**休憩します。

## 05 | 献血終了



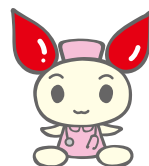
献血カードを受け取り、献血は終了です。

献血カードには次回献血可能日が印字されています。

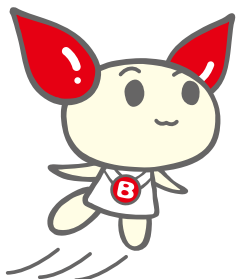


### 献血後の注意

- 当日は激しい運動を避けてください
- エレベーターや階段は注意してください
- 重い荷物を採血側の腕で持たないでください
- 採血直後のトイレは座ってください
- ▶ 気分が悪くなったらすぐにしゃがむか、横になってください!!



Q1 献血をして病気になったり、うつることはないの？



A

心配ありません。献血をして病気になることはありません。

献血をするときに使われる針や血液バッグなどは、献血者一人ひとり新しいものに交換しています。

Q2 採血する時間はどれくらいなの？

A

採血時間は人によりますが、全血献血(200mL・400mL)で**10分~15分**くらい、成分献血は採血量によりますが、**40分~90分**くらいです。



Q3 献血をすると、自分の体のことが分かって本当？



A

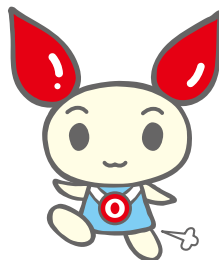
献血にご協力いただいた方々への感謝の気持ちとして、**検査成績をお知らせ**しています。

ぜひ、健康管理に役立ててください。

なお、HIVの検査結果は通知されません。エイズの検査は保健所で匿名・無料で受けることができます。

!

感染症検査目的の  
献血は絶対にダメ!





## Q4 献血できない場合もあるの？

A

血液には病原体が含まれていることがあります。

患者さんの安全を守るため、以下に当てはまる方は献血できません。

### 歯科治療

- 3日以内に出血を伴う治療を受けた人

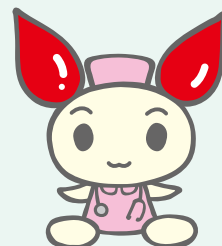


### 薬を飲んでいるとだめなの？

病気や薬の種類によって、献血できない場合がありますので相談してね。

### 海外渡航

- 4週間以内に海外から帰国(入国)した人
- 特定の時期に一定期間イギリスなどへの海外滞在歴がある人



### ピアス

- 唇や口の中、鼻など粘膜を貫通してピアスをしている人
- 1ヶ月以内に医療機関等で穴を開けた人
- 6ヶ月以内に安全ピンや針を友達と共有して穴を開けた人



### 予防接種

- 接種後**24時間**: インフルエンザ、HPV(子宮頸がん)、A型肝炎、新型コロナウイルス(ノババックス社製)など
- 接種後**48時間**: 新型コロナウイルス(ファイザー社製、モデルナ社製)
- 接種後 **2週間**: B型肝炎
- 接種後 **6週間**: 新型コロナウイルス(アストラゼネカ社製、J&J社製)  
※令和4年11月末時点




※上記の他にも献血できない場合があります。  
詳しくは日本赤十字社HPをご覧ください。

日本赤十字社 献血

検索





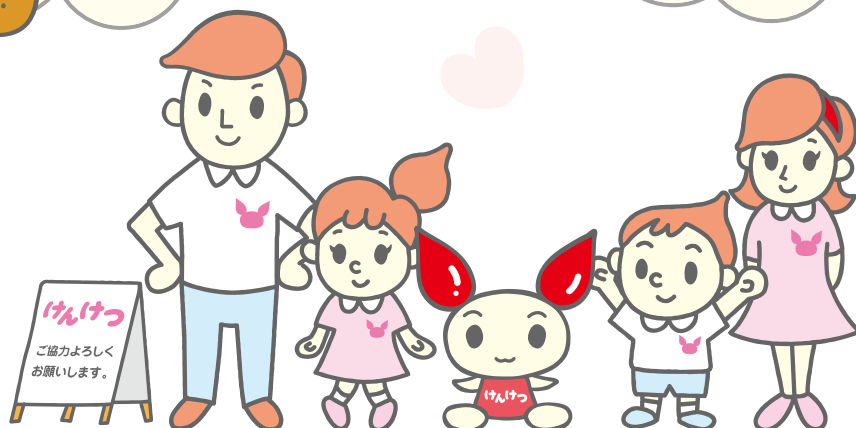
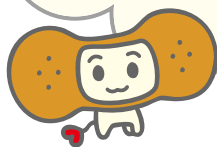
はじめての献血でしたが、幅広い年代の方がいてとても明るい雰囲気には驚きました。

採血後は、飲み物を飲んだり、お菓子を食べてりして過ごしました。漫画も置いてあったので楽しく休憩できました！

思っていたより痛みも無くて、待ち時間も快適に過ごせました。

献血常連の友だちと初の献血。誰かの力になれた実感がわきました。

初めての献血でしたが丁寧に対応して頂き、嬉しかったです！



## 輸血をしてもらう

小学校3年生の時に体調不良の日が続き、病院に行き検査をすると「急性骨髄性白血病」とわかり入院をしました。

抗がん剤治療と骨髄移植をするために1年3か月入院をしました。治療中、数えきれないぐらいの輸血をしました。輸血しないで、抗がん剤治療だけしていても、私は、今ここにいることができません。



北東 紗輝さん

## 献血呼びかけボランティアをはじめて

私は、輸血をしたので、献血はすることができませんが、「何か手伝えることはないかな?」と探しているときに、「献血呼びかけボランティア」というのを見つけました。献血ルームに行くと、献血に来てくれている人が大勢いて、私と同級生ぐらいの高校生も大勢いたので、びっくりしたと同時に、「献血ルームに来てくれる人がいるから、輸血ができたんだな。」と感謝しかありません。これからも、多くの人に献血を知ってもらい、献血したり、他の人に広めていってほしいです。



恒川 礼子さん

## 40歳で診断された難病

仕事や子育てに走りまわっていた40歳の時に自己免疫の病気「重症筋無力症」と診断されました。全身の筋肉に力が入りにくく、すぐに疲れてしまう。その時服用していた薬の副作用に悩まされ、気持ちと身体をだましながら毎日を過ごしていました。



## 救ってくれたのは、献血から生まれた薬

そんな時新たな治療法として免疫グロブリン療法を取り入れることになりました。この治療の薬はみなさんが献血してくださった血液からつくられます。免疫系の病気の仲間もこの薬のおかげで命をつなぎ、学校生活や社会生活を送ることができるようになっていきます。献血をしてくださったみなさんに心より感謝申し上げます。

## 「ありがとうの手紙」(動画)

急性リンパ性白血病を発症し、輸血を経験された友寄 蓮さんの体験談を紹介しています。

詳しくはこちら



日本赤十字社HP



## 学生献血推進ボランティアとは？



全国学生献血推進実行委員会  
委員長 土田 登也さん

若年層に向けて献血の大切さや現状を広め、献血に協力していただける方を増やすために活動しているボランティア団体です！大学・短期大学・専門学校などに通っている、全国47都道府県の学生で構成されています！

### ボランティアを始めたきっかけは？

大学生になるまで、献血という言葉は知っていたけれど、こういったものなのかは全く知りませんでした。入学してすぐの頃大学内で自分と同じ学生が看板を持って、「献血にご協力お願いします！」と呼びかけているのを見て、献血やってみようと思ったのが、学生献血推進ボランティアを知り、自分も力になりたいと思うきっかけでした。



### ボランティア活動の中で印象に残っていることは？

ボランティアの一員として、初めて参加した献血キャンペーンの時です。ティッシュ配りをしながら呼びかけ活動を行ったのですが、中々受け取ってもらえなかったり、そもそも目に留まっていなかったりという状況でした。自分たちの気持ちが伝わらないことで感じた悲しさや、だからこそもっと多くの人に献血を知ってもらいたいという強いやる気を同時に感じたことが印象に残っています。



### やりがいを感じる時は？

私たちの呼びかけ活動やSNSで発信した情報を見て、献血に来てくださる方が増えたり、患者さんからのメッセージを見たりすると、私たちの活動が誰かの背中を押し、誰かの助けになっていると感じ、やりがいを感じます。



## 高校生にメッセージをお願いします！！

このメッセージを読んでいる学生の皆さんは、献血について詳しく知らない方が多いと思います。知らないことに挑戦するのは勇気のいることですよね？

そんな一歩を踏み出す勇気を後押しできるように日々活動しています！ SNSでは、献血情報からボランティア活動に参加する学生の日常まで発信しているので、是非チェックしてみてください。少しでも献血に興味を持っていただくと嬉しいです。献血に行く、そして、献血を広めることで誰かを救うことに繋がります。ぜひご協力をお願いします！

# キャンペーン一覧

## 1月 2月 「はたちの献血」キャンペーン

毎年1月～2月に「はたちの献血」キャンペーンを実施しています。キャンペーン期間中は、ポスターやインターネットなどによる広報のほか、全国各地でさまざまなイベントを開催します。



## 7月 愛の血液助け合い運動

毎年7月に「愛の血液助け合い運動」月間を実施しています。メインの行事として、献血運動推進全国大会を開催します。

季節の  
キャンペーンも!



# 献血普及啓発

## ○Webサイト 「全国のありがとうの声」

献血によって命を支えられた全国の方々からの、ありがとうのメッセージをご紹介します。

詳しくは  
こちら



日本赤十字社HP



## ○動画 「献血の先にある、感動を知っていますか？」

善意の献血からつくられる血漿分画製剤という「くすり」について、患者さんの体験談とともに紹介しています。

詳しくは  
こちら



国内分画事業者による  
献血推進活動(チャンネル)



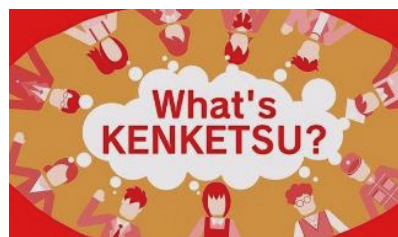
## ○動画 「What's KENKETSU?」 ～3分でわかる献血のはなし～

「What's KENKETSU?～3分でわかる献血のはなし～」では、献血についてわかりやすく説明しています。

詳しくは  
こちら

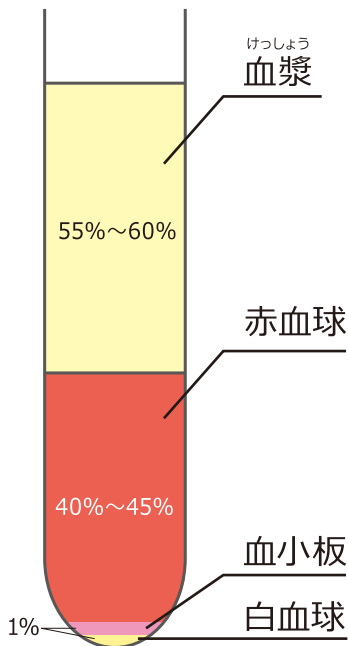


日本赤十字社HP



## ■ 血液の成分

血液は、人間の体に必要な酸素や栄養分を体中に運んでいます。



### 血漿

- 体内の炭酸ガスを肺へ運び、組織呼吸で空気中に放出
- 栄養分を体の各部に運ぶ
- 老廃物を腎臓から排出

### 赤血球

- 肺で酸素を取り込んで、体の各部へ運ぶ



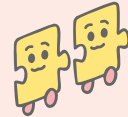
### 白血球

- 体内に侵入した細菌やウイルスを消化・殺菌



### 血小板

- 血管が損傷したときに、血管をふさいで出血を止める



## ■ 血液の量

体の中に流れている血液は、体重のおよそ13分の1です。

## ■ 血液型

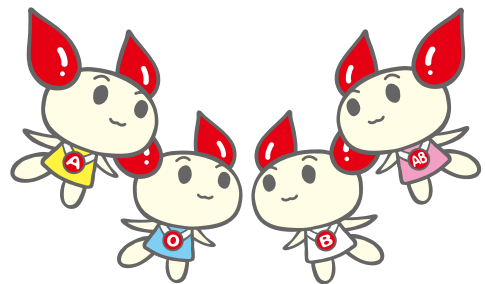
血液には、いろいろな型があります。

【主な血液型】

- 赤血球の型：ABO型、Rh型
- 白血球の型：HLA型

輸血をするときは、誰の血液でも良いというわけではありません。同じ血液型の血液を輸血しないと、重い副作用が生じてしまいます。原則的に、ABO型とRh型は同じ型のものを合わせて輸血します。

日本人の血液型は多い順からA型、O型、B型、AB型となっています。



## ■ 血液製剤の種類

献血で集められた血液は、さまざまな薬となって、患者さんのもとに届きます。

いただいた  
献血血液

### 輸血用血液製剤

### 血漿分画製剤

#### 赤血球製剤



出血および赤血球が不足する状態、またはその機能低下による酸素欠乏のある場合に使用されます。

- 保存温度 2～6℃
- 有効期間 採血後21日間

#### 血小板製剤



血小板の減少またはその機能低下による出血ないし出血傾向のある場合に使用されます。

- 保存温度 20～24℃
- 有効期間 採血後4日間  
要振とう

#### 血漿製剤



複数の血液凝固因子の欠乏による出血ないし出血傾向のある場合に使用されます。

- 保存温度 -20℃以下
- 有効期間 採血後1年間

#### 全血製剤



大量出血などすべての成分が不足する状態で、赤血球と血漿の同時補給を要する場合に使用されます。

- 保存温度 2～6℃
- 有効期間 採血後21日間

#### 血液凝固第Ⅷ因子製剤



血友病などに使われます。

#### アルブミン製剤



やけどやショックなどの場合に使われます。

#### 免疫グロブリン製剤



重症感染症、ある種の神経疾患、川崎病などに使われます。

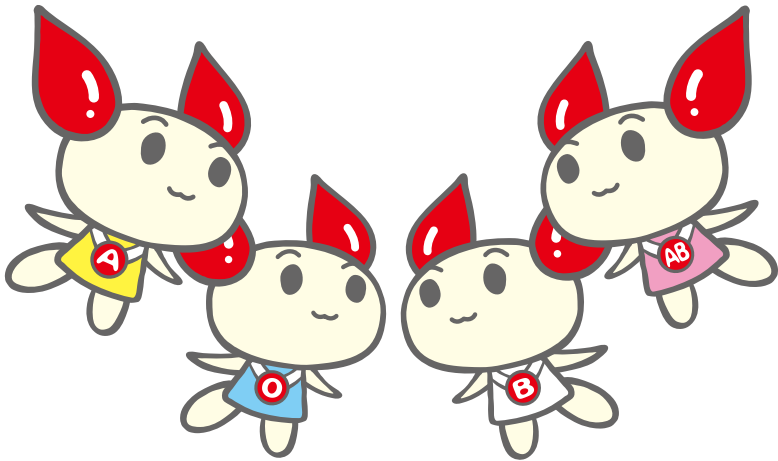
#### その他

献血血液の約半分は  
輸血以外に使われています。

※令和4年11月末時点



# 参 考 资 料 编





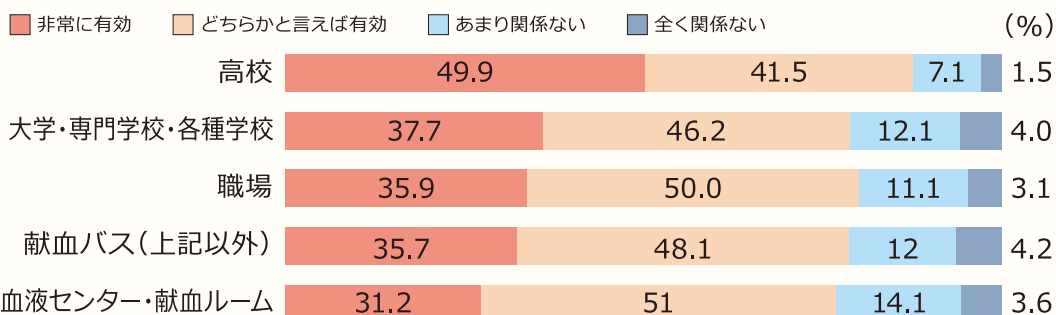
## 高校生に対する献血推進が重要です

① これからの日本社会の人口動態を考慮すると、献血可能人口は減少すると推定されます。血液製剤は医療に無くてはならないものですので、血液が足りなくなって患者さんに届けられない、という事態はどうしても避けなければなりません。

そのため、これからの社会を支える若年層の献血者をいかに増やすかが喫緊の課題となっています。

② 厚生労働省が献血経験者を対象に実施した調査では、多くの人(特に、初回献血の場所が高校だった人)が「高校での献血がその後の献血への動機付けに有効」と考えていることがわかりました(下図参照)。

### Q. 高校での集団献血が、その後の献血への動機付けとなるか



H23厚生労働省作成

初めて献血した場所

## 少しでも献血に触れ合える機会を生徒に提供してください

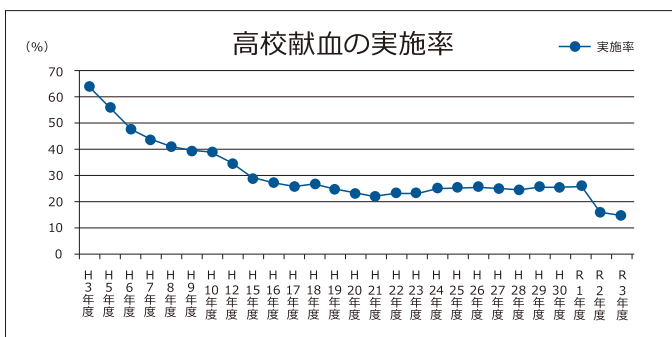
献血バスが出向いて実施された高校献血は昔、実施率が約6割ととても盛んに行われておりましたが、徐々に減少し、**現在では2割程度**にまで落ち込んでいます。

この高校献血の減少によって、学生たちは献血に触れ合う機会自体が減ってきています。

献血については、平成21年7月に改訂された「高等学校学習指導要領解説／保健体育編」に「献血の制度があることについても適宜触れる」ことが追記され、**平成25年度から高等学校の授業で触れられる環境が整いました。**

献血受入を行っている日本赤十字社では、**献血のきっかけづくりや、将来にわたって献血にご協力いただくための取組として、学校に出向いての「献血セミナー」(スライド・映像やパンフレットを用いた学習講座)を積極的に実施しております。**

詳しくは、最寄りの血液センターへお問い合わせください。



## 献血基準<sup>※1</sup>

項目	全血献血		成分献血	
	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血
1回献血量	200mL	400mL	600mL以下(循環血液量の12%以内)	
年齢	16歳～69歳 <sup>※2</sup>	男性17歳～69歳 <sup>※2</sup> 女性18歳～69歳	18歳～69歳 <sup>※2</sup>	男性18歳～69歳 <sup>※2</sup> 女性18歳～54歳
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上	
最高血圧	90mmHg以上 180mmHg未満			
最低血圧	50mmHg以上 110mmHg未満			
脈拍	40回/分以上 100回/分以下			
体温	37.5℃未満			
血色素量 (ヘモグロビン濃度)	男性 12.5g/dL以上 女性 12.0g/dL以上	男性 13.0g/dL以上 女性 12.5g/dL以上	12.0g/dL以上 (赤血球指数が標準域にある 女性は11.5g/dL以上)	12.0g/dL以上
血小板数	———	———	———	15万/μL以上 60万/μL以下
年間献血回数 <sup>※3※4</sup>	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	
年間総献血量 <sup>※3※4</sup>	200mL献血と400mL献血を合わせて 男性1,200mL以内、女性800mL以内		———	———
共通事項	次の方からは採血しない ①妊娠していると認められる方、又は過去6ヵ月以内に妊娠していたと認められる方 ②採血により悪化するおそれのある循環器系疾患、血液疾患、その他の疾患にかかっていると認められる方 ③有熱者その他健康状態が不良であると認められる方			

※1 採血基準は、献血にご協力いただける方の健康を保護するために、国が定めたもので、採血の実施は、医師が問診結果等を踏まえて総合的に判断します。

※2 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

※3 期間の計算は採血を行った日から起算します。

※4 1年は52週として換算します。

## 献血の間隔<sup>※5</sup>

今回の献血	全血献血		成分献血	
	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血
200mL献血	男女とも4週間後の同じ曜日から			
400mL献血	男性は12週間後、 女性は16週間後の同じ曜日から		男女とも8週間後の同じ曜日から	
血漿成分献血	男女とも2週間後の同じ曜日から <sup>※6</sup>			
血小板成分献血				

※5 期間の計算は献血を行った日から起算します。

※6 血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

献血される方と患者さんの安全を守るため、受付の際に「お願い！」パンフレットが渡されます。重要な内容ですので、生徒に指導する際の参考にしてください。

## 献血前にお読みください

### ●献血前に

- ◆お名前、生年月日、住所、電話番号等は正確にお答えください。
- ◆初めて献血をされる方は、ご本人の確認のため、運転免許証などの提示をお願いします。
- ◆問診項目には正確にお答えください。事実と異なる回答をされた場合、輸血を受けた患者さんに深刻な状況をもたらす場合があります。
- ◆献血に伴う副作用予防のため、献血前に水分(スポーツドリンク等)を補給してください。
- ◆献血後に高所作業や激しいスポーツ、自動車の運転等をされる方は献血前にお知らせください。特に乗り物の運転をされる方は、献血後に十分な休憩(30分以上)をおとりください。

### ●献血時は

- ◆血圧や血色素量(ヘモグロビン濃度)を事前に測定します。
- ◆200mL・400mL献血では10分から15分位、成分献血では体重等に応じて採血する量(上限 600mLまで)が異なりますので、40分から90分位の採血時間がかかります。
- ◆採血針や採血バッグ等は、お一人ずつ使い捨てとなっています。
- ◆採血装置の不具合等により、採血が中断されたり、いただいた血液が血液製剤に使用できなくなることがあります。

### ●献血に伴う注意と副作用

- ◆血液には鉄分が含まれているため、献血により身体から鉄分が失われます。日頃から鉄分を補う食事を心がけましょう。
- ◆次のような症状が起きた場合は、すぐに職員にお知らせください。
  - ・針を刺したときに、強い痛みやしびれがある場合。
  - ・気分不良やめまい等の症状がある場合。※立ち上がりず、そのままの姿勢でお知らせください。
  - ・口唇や手指のしびれ感などの症状がある場合。※成分献血では血液が固まらないように抗凝固剤(クエン酸ナトリウム)を使用しているため、このような症状を起こすことがあります。
  - ・皮下出血がある場合。
- ◆採血針を刺したところに、跡が残ることがあります。

### ●献血していただいた血液は

- ◆検査を実施し、血液製剤の基準に適する場合のみ、輸血などの血液製剤に使用いたします。
- ◆血液の一部は少なくとも11年間冷凍保存し、輸血による副作用や感染症などの調査のために使用します。

### ●献血の依頼について

- ◆受付時に確認させていただく「献血の依頼についての応諾意思」に同意いただいた方には、はがき、電話、メール、LINE等により、患者さんに必要な血液製剤を供給するために、献血のご協力をお願いする場合があります。

献血を希望する際は、質問事項に正しく回答する必要があります。

問診は、感染直後から抗原または抗体が検出できるまでの感染の事実を検知できない期間(ウィンドウ期)などにおいて実施可能な、検査の限界を補う唯一の方法です。

献血者は、献血の方法や危険性などを理解することはもちろん、問診の意義や目的を正しく理解し、患者に安全な血液製剤を提供するために「責任ある献血」をすることが必要です。

## 質問事項

1	今日の体調は良好ですか。	13	今までに次の病気にかかったことがありますか。 C型肝炎、梅毒、マラリア、バベシア症、シャーガス病、リーシュマニア症、アフリカトリパノソーマ症
2	3日以内に出血を伴う歯科治療(抜歯、歯石除去等)を受けましたか。		
3	3日以内に薬を飲んだり、注射を受けましたか。		
4	次の育毛薬/前立腺肥大症治療薬を使用したことがありますか。 プロペシア・プロスカールなど(1か月以内)、アボダート・アボルブなど(6か月以内)	14	海外から帰国(入国)して4週間以内ですか。
		15	1年以内に外国(ヨーロッパ・米国・カナダ以外)に滞在しましたか。
5	次の薬を使用したことがありますか。 乾せん治療薬(チカノン)、ヒト由来プラセンタ注射薬(ラエンネック・メルスモン)	16	4年以内に外国(ヨーロッパ・米国・カナダ以外)に1年以上滞在しましたか。
		17	英国に1980年(昭和55年)~1996年(平成8年)の間に通算1か月以上滞在しましたか。
6	24時間以内にインフルエンザの予防接種を受けましたか。	18	ヨーロッパ(英国も含む)・サウジアラビアに1980年以降、通算6か月以上滞在しましたか。
7	1年以内にインフルエンザ以外の予防接種を受けましたか。		
8	次の病気や症状がありましたか。 3週間以内-はしか、風疹、おたふくかぜ、帯状疱疹、水ぼうそう 1か月以内-発熱を伴う下痢 6か月以内-伝染性単核球症、リンゴ病(伝染性紅斑)	19	エイズ感染が不安で、エイズ検査を受けるための献血ですか。
		20	6か月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。 ①不特定の異性または新たな異性との性的接触があった。 ②男性どうしの性的接触があった。 ③麻薬、覚せい剤を使用した。 ④エイズ検査(HIV検査)の結果が陽性だった(6か月以前も含む)。 ⑤上記①~④に該当する人と性的接触をもった。
9	1か月以内に肝炎やリンゴ病(伝染性紅斑)になった人が家族や職場・学校等にいますか。		
10	6か月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。 ①ピアス、またはいれずみ(刺青)をした。 ②使用後の注射針を誤って自分に刺した。 ③肝炎ウイルスの持続感染者(キャリア)と性的接触等親密な接触があった。		21
	11	1年以内に次の病気等にかかったか、あるいは現在治療中ですか。 外傷、手術、肝臓病、腎臓病、糖尿病、結核、性感染症、ぜんそく、アレルギー疾患、その他	22
12	今までに次の病気にかかったか、あるいは現在治療中ですか。 B型肝炎、がん(悪性腫瘍)、血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん	23	

1

今日の体調は良好ですか。

体温37.5℃以上の発熱のある人は、細菌やウイルスが血液に出てくる(菌血症又はウイルス血症)疑いがあるため、**献血してはいけません**。(体温37.5℃以上の発熱を認めない場合でも、献血者の体調を考慮し献血をご遠慮いただく場合があります。)

また、献血者の緊張度や体調によっては、採血によりVVR(血管迷走神経反応)などの副作用が起こる可能性があるため、十分に体調を整えて献血することが重要です。

2

3日以内に出血を伴う歯科治療(抜歯、歯石除去等)を受けましたか。

3日以内に出血を伴う歯科治療を受けた人は、口腔内常在菌が血液中に出ている(菌血症)可能性があるため、**献血してはいけません**。

3

3日以内に薬を飲んだり、注射を受けましたか。

抗菌薬や抗ウイルス薬、解熱鎮痛剤を服用された人、又は点滴や注射をされた人は、**献血してはいけません**。感染症を起こしていたり、薬物が血小板の機能に悪影響を及ぼしたりする可能性があるからです。

その他の薬物を服用している場合でも、病気や薬の影響により献血できない場合があります。問診時に医師にご相談ください。

4

次の育毛薬／前立腺肥大症治療薬を使用していることがありますか。

プロペシア・プロスカールなど(1ヵ月以内)、アボダート・アボルブなど(6ヵ月以内)

アンチアンドロゲン系ホルモン剤であるこれらの薬剤は、胎児に対する催奇形性が指摘されているため、プロペシア・プロスカールなどは**服用後1ヵ月間**、アボダート・アボルブなどは**服用後6ヵ月間献血してはいけません**。

プロスカール及びアボダートは日本では医薬品として未承認ですが、育毛薬として個人輸入し、服用(経口)している人がいます。また、アボダートと同様の成分(dutasteride)を含むデュタスタや、プロペシアと同様の成分(finasteride)を含むフィンペシア、フィンカーなどのジェネリック医薬品も同様の扱いとなります。

5

次の薬を使用していることがありますか。

乾せん治療薬(チガソン)

ヒト由来プラセンタ注射薬(ラエンネック・メルスモン)

乾せん及び角化症治療薬の治療に用いられるチガソンは、米国(FDA)の基準にある採血禁忌薬剤であるTegison(合成レチノイド)に該当し、催奇形性が指摘されているため、服用歴がある場合や、服用中の人は**献血してはいけません**。

また、ヒト由来プラセンタ注射薬の原料であるヒト胎盤からの異常プリオン感染による変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の危険性が理論上完全に否定できないため、過去にラエンネック、メルスモンの注射をした人にも献血をご遠慮いただいています。

なお、ヒト由来プラセンタ注射薬の使用によるvCJDの感染事例は報告されていません。

6

24時間以内にインフルエンザの予防接種を受けましたか。

インフルエンザワクチンは、不活化ワクチンであり、血中に病原体が存在する危険性はありませんが、献血者の体調を考慮して**接種後24時間を経過するまで献血してはいけません**。

7

1年以内にインフルエンザ以外の予防接種を受けましたか。

インフルエンザワクチン以外の不活化ワクチンやトキソイド(例えば、日本脳炎、HPV(子宮頸がん)、肺炎球菌、百日咳、A型肝炎等)を接種した人は、**接種後24時間を経過するまで献血してはいけません**。

B型肝炎ワクチン接種後は、HBs抗原検査が陽性と判定される可能性が高いため、**2週間献血してはいけません**。抗HBsヒト免疫グロブリンを単独またはB型肝炎ワクチンと併用した人は**6ヵ月間献血してはいけません**。

また、動物に噛まれた後に狂犬病ワクチンを接種した人は**接種後1年間**、弱毒生ワクチン(例えば黄熱、麻疹、ポリオ、おたふくかぜ、風疹、水痘、BCG)を接種した人は一過性感染の可能性を考慮して**接種後4週間献血してはいけません**。

新型コロナウイルスワクチンについては、ノババックス社製は**接種後24時間**、ファイザー社製・モデルナ社製は**接種後48時間**、アストラゼネカ社製・J&J社製は**接種後6週間献血してはいけません**。

その他、破傷風、蛇毒、ジフテリアの抗血清投与を受けた人は**3ヵ月間献血してはいけません**。(令和4年11月末時点)

8

次の病気や症状がありましたか。

3週間以内

－はしか、風疹、おたふくかぜ、  
帯状疱疹、水ぼうそう

1ヵ月以内

－発熱を伴う下痢

6ヵ月以内

－伝染性単核球症、リンゴ病(伝染性紅斑)

麻疹ウイルス、風疹ウイルス、ムンプスウイルスの感染を予防するため、はしか、風疹、おたふくかぜ、帯状疱疹、水ぼうそうの治癒後3週間以内の人は、**献血してはいけません**。

輸血を介した細菌等の感染を防ぐため、発熱や食中毒様の激しい下痢症状等があった人は、サルモネラや病原性大腸菌等による食中毒が疑われることから症状消失後1ヵ月間、エルシニア感染症と診断された場合は症状消失後**6ヵ月間献血してはいけません**。

エプスタイン・バーウイルス(EBV)の感染を防ぐため、伝染性単核球症の症状消失後**6ヵ月間献血してはいけません**。このウイルスに日本人は、乳幼児期までに感染し、生後2〜7歳ではほぼ80%が、成人ではほぼ100%が抗体陽性を示します。輸血による感染は一般に症状が現れず、我が国では輸血による感染が特定された報告はありません。外国では伝染性単核球症や肝炎の発症が数例報告されています。

また、ヒトパルボウイルスB19の感染を防ぐため、リンゴ病(伝染性紅斑)の治癒後**6か月間献血してはいけません**。日本では成人の約50%がこのウイルスに対する抗体が陽性であり、輸血による感染の危険性は非常に低くなっています。また、仮に症状が出現しても急性一過性に経過し、重症化はしません。ただし、溶血性貧血の患者や免疫抑制状態にある患者が感染した場合には、重症の貧血(赤芽球ろう)を起こす危険性があり、また、子宮内で胎児が感染した場合、流産、胎児水腫を起こすことがあります。

9

1か月以内に肝炎やリンゴ病(伝染性紅斑)になった人が家族や職場・学校等にいますか。

A型肝炎ウイルス(HAV)、E型肝炎ウイルス(HEV)の感染を防ぐため、1か月以内に家族や職場等にA型肝炎、E型肝炎を発症した人がいる場合は、**1か月間献血してはいけません**。通常、経口摂取により感染しますが、潜伏期から急性期にかけてウイルス血症が起こり、血液による感染が起こり得ます。

同様に、ヒトパルボウイルスB19の感染を防ぐため、1か月以内に家族や職場等にリンゴ病(伝染性紅斑)を発症した人がいる場合は、**献血してはいけません**。

10

6か月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。

- ① ピアス、またはいれずみ(刺青)をした。
- ② 使用後の注射針を誤って自分に刺した。
- ③ 肝炎ウイルスの持続感染者(キャリア)と性的接触等親密な接触があった。

B型肝炎ウイルス(HBV)やC型肝炎ウイルス(HCV)の感染を可能な限り防止するため、他人の血液や体液に暴露された可能性のある人、6か月以内にウイルスキャリアとの親密な接触をした人は**献血してはいけません**。肝炎ウイルスの感染経路は、他人と共有した器具によるピアスの穴あけ・刺青、キャリアとの性的接触等といわれています。ただし、日常生活で感染することはほとんどありません。

また、C型肝炎ウイルスについては、性的接触で感染することはほとんどありません。

11

1年以内に次の病気等にかかったか、あるいは現在治療中ですか。

外傷、手術、肝臓病、腎臓病、糖尿病、結核、性感染症、ぜんそく、アレルギー疾患、その他

採血により献血者の健康に悪影響を与えるおそれがある疾患については、献血者自身と受血者双方の安全性を確保するため、**献血をご遠慮いただく場合があります**。また、開胸・開腹・開頭を要するような大手術を受けた人及び開放骨折をした人は、**6か月間献血をご遠慮いただいています**。肝臓病や腎臓病、外傷がある場合は治癒するまで、ぜんそく、アレルギー疾患等については病態が安定するまでは献血してはいけません。

12

今までに次の病気にかかったか、あるいは現在治療中ですか。

B型肝炎、がん(悪性腫瘍)、血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん

B型肝炎ウイルスキャリアと過去に診断された人は献血してはいけません。また、急性B型肝炎は、ウイルスに感染したことに気づかないまま治ることが一般的に多く、治癒後は日常生活に問題となることはありません。しかし近年、血液中にHBs抗原が検出されない場合でも、HBc抗体陽性の人では肝臓の中にごく微量のB型肝炎ウイルスが存在し続けており、まれに血液中にもごく微量のB型肝炎ウイルスが検出される場合があることが分かってきました。このため、患者への万が一の感染を防ぐためにHBc抗体陽性の人には献血してはいけません。

血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん等については、採血により献血者の健康に悪影響を与えるおそれがあるため献血をご遠慮いただいています。

がんについては治療により根治し再発なく5年経過するまで献血してはいけません。なお、造血管腫瘍については、経過良好でも献血してはいけません。

13

今までに次の病気にかかったことがありますか。

C型肝炎、梅毒、マラリア、バベシア症、シャーガス病、リーシュマニア症、アフリカトリパノソーマ症

C型肝炎は慢性化しやすく、肝炎が治癒しても血中にウイルスが存在していることがあるので、**C型肝炎の既往歴のある人及びC型肝炎ウイルスキャリアと言われたことのある人は献血してはいけません**。

梅毒は、血小板製剤や新鮮血の使用で感染するおそれがあるので、**既往歴のある人は献血してはいけません。**

マラリアの既往歴のある人は、マラリアの発熱発作が長期間みられなくても、肝臓等にマラリア原虫が残存している場合があり(特に三日熱マラリア原虫、卵形マラリア原虫)、輸血による感染源になりうるため、**献血してはいけません。**

その他、**シャーガス病やバベシア症等の既往歴のある人も献血してはいけません。**

## 14

海外から帰国(入国)して4週間以内ですか。

海外との交流が盛んになるにつれて、海外で何らかの感染性疾患に罹患したまま帰国(入国)する人が多くなっています。これらの疾患は、マラリアのように血液を介して感染するものが多く、その一つ一つを何らかの検査でスクリーニングすることは困難です。ウエストナイル熱をはじめとする輸入感染症対策のため、大半の輸入感染症の潜伏期間内にある帰国後4週間は**献血してはいけません。**

## 15

1年以内に外国(ヨーロッパ・米国・カナダ以外)に滞在しましたか。

## 16

4年以内に外国(ヨーロッパ・米国・カナダ以外)に1年以上滞在しましたか。

マラリアによる感染を防ぐため、WHOの指定しているマラリア流行地域に旅行した人については**1年間**、長期滞在者については**3年間献血してはいけません。**アメリカではおよそ100万単位当たり0.25の確率で輸血による感染が起こっており、我が国では、その頻度はさらに低いものと考えられていますが、今後海外旅行等の増加により、危険性が高まることが懸念されています。

その他、中南米に居住歴のある方については、中南米に流行地をもつサシガメ(昆虫)が媒介するシャーガス病のリスク(病原体保有者)がある場合がありますので注意が必要です。

## 17

英国に1980年(昭和55年)~1996年(平成8年)の間に通算1ヵ月以上滞在しましたか。

## 18

ヨーロッパ(英国も含む)・サウジアラビアに1980年以降、通算6ヵ月以上滞在しましたか。

変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)については、輸血で感染する可能性が示唆されています。したがって、昭和55年以降に、表中のA及びBに掲げる「採血制限対象国」において、「通算滞在歴」の欄に掲げる期間滞在した人は、**献血してはいけません。**なお、平成30年12月時点で、英国において、輸血により異常プリオンタンパクに感染した疑いのある事例が4例、血液凝固因子製剤により感染した疑いのある事例が1例報告されています。

		採血制限対象国	通算滞在歴	滞在時期
A	①	英国	31日以上 (1996年まで) 6ヵ月以上 (1997年から)	1980年 ~2004年
	②	アイルランド、イタリア、オランダ、スペイン、ドイツ、フランス、ベルギー、ポルトガル、サウジアラビア	6ヵ月以上	
	③	スイス	6ヵ月以上	1980年~
B	①	オーストリア、ギリシャ、スウェーデン、デンマーク、フィンランド、ルクセンブルグ	5年以上	1980年 ~2004年
	②	アイスランド、アルバニア、アンドラ、クロアチア、サンマリノ、スロバキア、スロベニア、セルビア、コソボ、モンテネグロ、チェコ、バチカン、ハンガリー、ブルガリア、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、北マケドニア共和国、マルタ、モナコ、ノルウェー、リヒテンシュタイン、ルーマニア	5年以上	1980年~

※Bに掲げる国の滞在歴を計算する際には、Aに掲げる国の滞在歴を加算するものとする。

## 19

エイズ感染が不安で、エイズ検査を受けるための献血ですか。

献血するということは、その血液が患者に輸血されることであり、献血には可能な限り患者の安全を守るという責任が伴います。エイズに限らず、感染症の検査を目的とする献血は、輸血を受ける患者に対して感染の危険性を高めるものですから、**絶対に行ってはいけません。**エイズ検査は保健所等にて無料・匿名で実施されています。

20

6カ月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。

- ① 不特定の異性または新たな異性との性的接触があった。
- ② 男性どうしの性的接触があった。
- ③ 麻薬、覚せい剤を使用した。
- ④ エイズ検査(HIV検査)の結果が陽性だった(6カ月以前も含む)。
- ⑤ 上記①～④に該当する人と性的接触をもった。

**エイズの原因となるウイルスであるHIVに感染している危険性のある人は、献血してはいけません。**

HIV感染者年間新規報告数は、令和2年は前年から153件減と大きく減少し、令和3年は前年から8件の減少となりました。エイズ患者年間新規報告数は令和2年に4年ぶりに前年より増加しましたが、令和3年は再び前年より減少しました。

令和3年に新規に報告されたHIV感染者数は742件、エイズ患者数は315件でした。累積報告件数は、令和3年末の時点ではHIV感染者23,231件、エイズ患者10,306件となりました。

令和3年新規HIV感染者を感染経路別にみると、同性間の性的接触531件(約71.6%)、異性間の性的接触91件(約12.3%)であり、他にも母子感染1件(約0.1%)などがあげられています。

エイズについては、昭和56年に米国で世界初の症例報告があり、昭和58年にはHIVが発見され、昭和60年に日本人初のエイズ患者が認定されました。我が国では約1,400名の血友病患者が、血友病治療のために使用していた非加熱血液凝固因子製剤によりHIVに感染し、国及び製薬企業5社を被告とする損害賠償請求訴訟が提起され、平成8年3月に和解が成立しました。また、和解に則り、非加熱製剤によりHIVに感染された方に対する救済事業等を実施しています。

加熱処理が導入されてからは、血液凝固因子製剤などの血漿分画製剤による感染は報告されていません。また、献血血液については、昭和61年からHIVの抗体検査が始まりました。平成11年には核酸増幅検査(NAT)が導入され、輸血による感染の危険性は大幅に減少しています。しかしながら、平成15年に、NAT導入後の輸血後HIV感染が1例、20プールNAT導入後も平成25年に1例報告されており、更なる安全対策として平成26年に個別検体による個別NATを導入しました。検出感度の優れている個別NATといえども、感染ごく初期のものは検出することができないことから、6ヶ月以内に上記5項目(④は6ヶ月以前も含む)のいずれかに該当する人は、献血してはいけません。

21

今までに輸血(自己血を除く)や臓器の移植を受けたことがありますか。

**輸血歴、臓器移植歴のある方は**、現在の検査方法で検出できないウイルスや未知のウイルスの感染の可能性が輸血歴等のない人よりも高いと考えられます。輸血を受ける人への感染を防ぐ意味から、**献血をご遠慮いただいています**。輸血の安全性は、相当程度改善しましたが、未知のウイルスを完全に排除することはできません。このような技術の限界を踏まえ、念のため、献血をご遠慮いただいているものです。

22

今までに次のいずれかに該当することがありますか。

- ① クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)または類縁疾患と診断された。
- ② 血縁者にCJDまたは類縁疾患と診断された人がいる。
- ③ ヒト由来成長ホルモンの注射を受けた。
- ④ 角膜移植を受けた。
- ⑤ 硬膜移植を伴う脳神経外科手術を受けた。

プリオンの適切な検査法のない現在、問診のみが唯一のスクリーニング法です。**上記のいずれかに該当する人は、献血してはいけません。**

なお、硬膜移植を伴う脳神経外科手術に関しては、医療機器であるヒト乾燥硬膜「ライオデュラ」を介してCJDに感染し、被害を被ったことに対し、国、輸入販売業者及びドイツの製造業者を被告とする損害賠償訴訟が提起され、平成14年3月に和解が成立しました。

23

現在妊娠中または授乳中ですか。

6カ月以内に産、産後をされましたか。

母体の健康を保護するため、妊娠中、出産・産後6カ月以内に、授乳中(分娩後1年まで)の女性には**献血をご遠慮いただいています**。



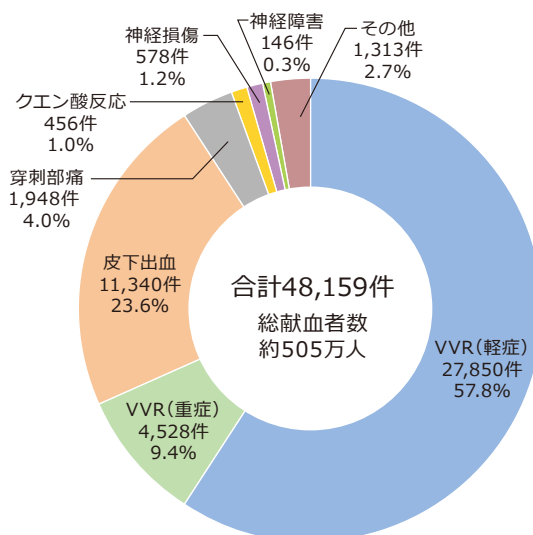


献血者の健康状態等を十分確認した上で採血を行います。時には気分不良、めまい、神経損傷などの健康被害が起こることがあります。(大半は、採血後に十分な休憩や水分補給を行うことで防げます)

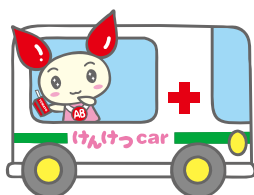
献血者の健康被害の症状とその発生状況は右図のとおりです。

発生頻度が高いのは、血管迷走神経反応(VVR)と呼ばれるもので、一時的な気分不良や顔面蒼白などの症状が代表的です。

日本赤十字社では、これらの健康被害を防ぐために、採血後の安静や水分補給について注意を促し、万が一、腕の痛みなど健康状態に心配が生じた時は、血液センターに連絡するよう呼びかけています。



令和3年度の献血者の健康被害発生状況



## 献血者健康被害救済制度

健康被害が医療機関の受診を要するような状態になった場合、医療費や医療手当などが支給される制度です。

令和3年度は、新たに519人について、この制度が適用されました。

(令和4年11月1日現在)

給付項目	給付額等
医療費	病院又は診療所を受診した場合、その医療に要した費用を補填するもの。
医療手当	病院又は診療所を受診した場合に要する医療費以外の費用を補填するもの。その額は、1日につき4,610円、月ごとの上限を36,900円とする。
障害給付	後遺障害に対して、その障害の程度に応じた一時金を給付するもの。その額は、給付基礎額8,900円に障害等級1～14級に応じた倍数を乗じて得た額(445,000円～11,926,000円)とする。
死亡給付	採血によって生じた健康被害が原因で死亡した献血者等の一定の範囲の遺族に対して一時金を給付するもの。その額は、44,150,400円とする。
葬祭料	葬祭を行うことに伴う出費に着目して、葬祭を行う者に対して給付するもの。その額は、212,000円とする。

## 売血から献血、国内自給をめざして

### 日本の血液事業のあゆみ<ミニ年表>

～1945年（昭和20年）	枕元輸血（院内輸血）普及 注射器で採取した血液を、感染症検査等を行わずそのまま輸血する「枕元輸血」が普及。
1950年（昭和25年）	我が国初の民間商業血液銀行設立 民間商業血液銀行はその後各地に設立され、売血（自らの血液を有償で採血させること）によって輸血用血液を供給。
1952年（昭和27年）	日本赤十字社血液銀行開設
1956年（昭和31年）	「採血及び供血あっせん業取締法」（採供法）施行 血液の適正利用と採血によって生じる保健衛生上の危害を防止し、供血者の保護を図ることを目的として制定。
1962年（昭和37年）	「黄色い血」追放運動が始まる 供血者の頻回採血による貧血や、血液の品質の低下が社会問題に。 ※売血常習者の血液は、度重なる売血行為により血球部分が少なく黄色い血漿部分が目立ち、「黄色い血」と呼ばれた。
1964年（昭和39年）	ライシャワー事件 ライシャワー駐日大使が暴漢に襲われ輸血を受け、輸血後肝炎に感染した事件。輸血された血液が売血由来の血液であったことから、献血推進の機運が高まる。 政府は輸血用血液を献血により確保する体制を確立するよう閣議決定。
1969年（昭和44年）	売血による輸血用保存血液の製造を中止（預血制度に切り替え）
1974年（昭和49年）	輸血用血液のすべてを献血で確保する体制の確立（預血制度を廃止） 一方血漿分画製剤は売血由来、輸入血漿由来の製品が多数を占める。
1986年（昭和61年）	400mL献血、成分献血の導入
1990年（平成2年）	有料採血の完全廃止
1991年（平成3年）	採血及び供血あっせん業取締法施行規則の一部改正 血液比重、血圧などの採血基準を緩和し、献血者の対象を拡大。
1999年（平成11年）	採血及び供血あっせん業取締法施行規則の一部改正 献血年齢の引き上げを行い、69歳*1まで献血が可能になる。（血小板成分献血については現行のまま54歳までとする）
2003年（平成15年）	「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」（血液法）が施行 採供法を改称。法の目的を安全性の向上や安定供給の確保等に拡大。
2006年（平成18年）	採血に係る健康被害の補償の実施 日本赤十字社において「献血者健康被害救済制度」の運用がスタート。
2011年（平成23年）	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律施行規則の一部改正 400mL採血の献血年齢を男性に限り18歳から17歳に引き下げる。また血小板成分採血の献血年齢を男性に限り54歳から69歳*1まで引き上げる。
2019年（令和元年）	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律の一部改正 採血等の制限の緩和や採血業の許可基準の明確化、採血事業者のガバナンスを強化するための措置が講じられる。

\*1 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られる。

# 全国血液センター一覽

## 北海道

北海道赤十字血液センター	〒063-0802 札幌市西区二十四軒2条1-1-20	011(613)6121
北海道ブロック血液センター	〒063-0802 札幌市西区二十四軒2条1-1-20	011(613)6121

## 東北

青森県赤十字血液センター	〒030-0966 青森市花園2-19-11	017(741)1511
岩手県赤十字血液センター	〒020-0831 盛岡市三本柳6-1-6	019(637)7200
宮城県赤十字血液センター	〒981-3206 仙台市泉区明通2-6-1	022(290)2501
秋田県赤十字血液センター	〒010-0941 秋田市川尻町字大川反233-186	018(865)5541
山形県赤十字血液センター	〒990-0023 山形市松波1-18-10	023(622)5301
福島県赤十字血液センター	〒960-1198 福島市永井川字北原田17	024(544)2550
東北ブロック血液センター	〒981-3206 仙台市泉区明通2-6-1	022(354)7070

## 関東甲信越

茨城県赤十字血液センター	〒311-3117 東茨城郡茨城町桜の郷3114-8	029(246)5566
栃木県赤十字血液センター	〒321-0192 宇都宮市今宮4-6-33	028(659)0111
群馬県赤十字血液センター	〒379-2154 前橋市天川大島町2-31-13	027(224)2118
埼玉県赤十字血液センター	〒337-0003 さいたま市見沼区大字深作955-1	048(684)1511
千葉県赤十字血液センター	〒274-0053 船橋市豊富町690	047(457)0711
東京都赤十字血液センター	〒162-8639 新宿区若松町12-2	03(5272)3511
神奈川県赤十字血液センター	〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町680-7	045(834)4611
新潟県赤十字血液センター	〒950-0954 新潟市中央区美咲町1-6-15	025(384)0920
山梨県赤十字血液センター	〒400-0062 甲府市池田1-6-1	055(251)5891
長野県赤十字血液センター	〒381-2214 長野市稲里町牧1288-1	026(214)8070
関東甲信越ブロック血液センター	〒135-8639 江東区辰巳2-1-67	03(5534)7666

## 東海北陸

富山県赤十字血液センター	〒930-0821 富山市飯野26-1	076(451)5555
石川県赤十字血液センター	〒920-0345 金沢市藤江北4-445	076(254)6300
福井県赤十字血液センター	〒918-8011 福井市月見3-3-23	0776(36)0221
岐阜県赤十字血液センター	〒500-8269 岐阜市西部中島2-10	058(272)6911
静岡県赤十字血液センター	〒420-0804 静岡市葵区竜南1-26-19	054(247)7141
愛知県赤十字血液センター	〒489-8555 瀬戸市南山口町539-3	0561(84)1131
三重県赤十字血液センター	〒514-0003 津市桜橋2-191	059(229)3580
東海北陸ブロック血液センター	〒489-8585 瀬戸市南山口町539-3	0561(89)7800

## 近畿

滋賀県赤十字血液センター	〒525-8505 草津市笠山7-1-45	077(564)6311
京都府赤十字血液センター	〒612-8451 京都市伏見区中島北ノ口町26	075(603)8800
大阪府赤十字血液センター	〒536-8505 大阪市城東区森之宮2-4-43	06(6962)7001
兵庫県赤十字血液センター	〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5	078(222)5011
奈良県赤十字血液センター	〒639-1123 大和郡山市筒井町600-1	0743(56)5916
和歌山県赤十字血液センター	〒649-6322 和歌山市和佐閑戸118-5	073(499)7724
近畿ブロック血液センター	〒567-0085 茨木市彩都あさぎ7-5-17	072(643)1007

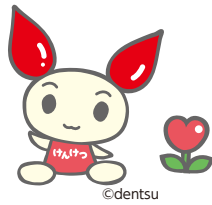
## 中四国

鳥取県赤十字血液センター	〒680-0901 鳥取市江津370-1	0857(24)8101
島根県赤十字血液センター	〒690-0882 松江市大輪町420-21	0852(23)9467
岡山県赤十字血液センター	〒700-0012 岡山市北区いずみ町3-36	086(255)1211
広島県赤十字血液センター	〒730-0052 広島市中区千田町2-5-5	082(241)1246
山口県赤十字血液センター	〒753-8534 山口市野田172-5	083(922)6866
徳島県赤十字血液センター	〒770-0044 徳島市庄町3-12-1	088(631)3200
香川県赤十字血液センター	〒761-8031 高松市郷東町字新開587-1	087(881)1500
愛媛県赤十字血液センター	〒791-8036 松山市高岡町80-1	089(973)0700
高知県赤十字血液センター	〒783-0043 南国市岡豊町小蓮448	088(866)6660
中四国ブロック血液センター	〒730-0052 広島市中区千田町2-5-5	082(241)1311

## 九州

福岡県赤十字血液センター	〒818-8588 筑紫野市上古賀1-2-1	092(921)1400
佐賀県赤十字血液センター	〒849-0925 佐賀市八丁畷町10-20	0952(32)1011
長崎県赤十字血液センター	〒852-8145 長崎市昭和3-256-11	095(843)3331
熊本県赤十字血液センター	〒861-8039 熊本市東区長嶺南2-1-1	096(384)6000
大分県赤十字血液センター	〒870-0889 大分市大字在隈717-5	097(547)1151
宮崎県赤十字血液センター	〒880-8518 宮崎市大字恒久885-1	0985(50)1800
鹿児島県赤十字血液センター	〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1-5	099(257)3141
沖縄県赤十字血液センター	〒902-0076 那覇市与儀1-4-1	098(833)4747
九州ブロック血液センター	〒839-0801 久留米市宮ノ陣3-4-12	0942(31)8900

学校献血や献血セミナーについてはお近くの  
血液センターにお問い合わせください



## 厚生労働省

お問い合わせ先  
厚生労働省 医薬・生活衛生局血液対策課  
東京都千代田区霞が関1-2-2  
〒100-8916 TEL03-5253-1111(代表)  
2023年1月印刷